

## 頭取メッセージ



平素は愛知銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

我が国の経済情勢は、米中貿易摩擦の深刻化や海外経済の減速などによる景気後退への不安感がくすぶり続けているものの、景気は緩やかな回復を続けています。一方、人口減少や高齢化社会の進行等の課題への対処を迫られるなかで、地方創生への取組みなど、地域活性化に向けて地域金融機関が果たすべき役割への期待は一段と強まりつつあります。

こうした経営環境の中で、2019年4月にスタートしました「第11次中期経営計画」では、目指す銀行像として「お客さまのパートナーとして地域社会に貢献する銀行」を掲げ、これまで以上に地域のお客さまに寄り添ってまいります。

中期経営計画の3年間では、3つの改革を進めていきます。一つ目は、「収益構造の改革」です。具体的には、有価証券運用への依存を抑制し、貸出金利息・役務利益増強により本業利益の安定的確保を目指します。二つ目は、「店舗・業務改革」です。業務に係るコストや店舗コストを抑制し、営業力強化に向けた戦略的投資・配分を行い、生産性の向上を図ります。三つ目は、「働き方改革」です。従業員の生産性や働きがいを高めるため、働き方改革を推進します。

以上の3つの改革を達成するために、「営業

力・収益力強化」、「生産性向上」、「人財強化」、「ガバナンス強化」の4点を基本方針として掲げています。

一つ目の「営業力・収益力強化」につきましては、ソリューション営業力を強化し、お客さまに提供するサービスの向上を図っていきます。二つ目の「生産性向上」につきましては、店舗の合理化や生産性向上のための店舗改革、IT・デジタル化によるお客さまの利便性向上に繋がる金融インフラの整備・拡充などを行ってまいります。三つ目の「人財強化」につきましては、担当者の提案力・コンサルティング力の強化や若手サポートの充実などに取り組むことで、次世代を担う人材を育成してまいります。最後の「ガバナンス強化」につきましては、リスク管理態勢を強化するとともに、取締役会の充実と実効性の向上に努めてまいります。加えて、持続可能な社会の形成・企業の成長のため、環境保全に配慮した金融商品の取扱い・店舗づくり等、ESG・SDGsへの対応を積極的に行ってまいります。

この基本方針の下で、目指す銀行像「お客さまのパートナーとして地域社会に貢献する銀行」を実現するために、行員一丸となって地域のお客さまを応援していく経営体制を構築してまいります。

取締役頭取 伊藤 行記

# 経営計画

## 経営計画

### 第11次中期経営計画

(2019年4月～2022年3月)

地域のお客さまを  
全力で応援します

目指す銀行像

『お客さまのパートナーとして  
地域社会に貢献する銀行』

#### 基本方針1 営業力・収益力強化

- (1) お客さまへの提供価値向上
- (2) リスクとリターン最適化
- (3) 地域創生への取組み強化
- (4) 市場運用力の高度化

#### 基本方針2 生産性向上

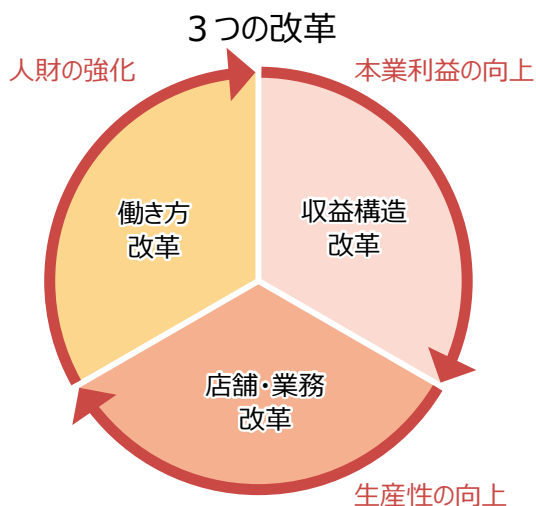
- (1) 店舗・業務改革の推進
- (2) IT戦略・非対面チャネルの強化
- (3) 働き方改革の推進
- (4) 経費の最適化

#### 基本方針3 人材強化

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) ダイバーシティへの取組み強化

#### 基本方針4 ガバナンス強化

- (1) お客さま本位の業務運営方針への取組み
- (2) リスク管理態勢の強化
- (3) ESGへの対応



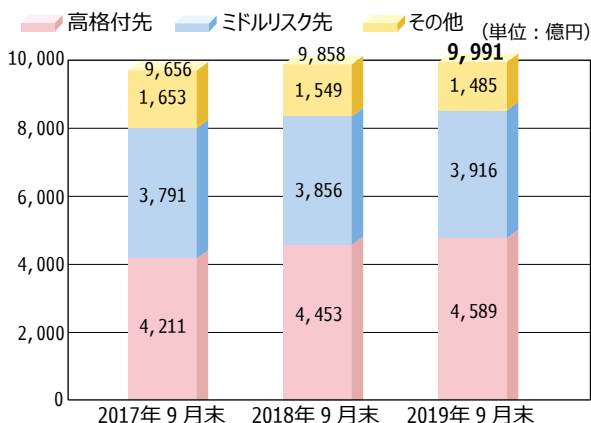
### 第11次中期経営計画で目指す経営指標 (2021年度目標)

コア業務純益	65.5億円
経常利益	58.5億円
当期純利益	41億円

## 格付別・年商別中小企業向け貸出金

中小企業（特にミドルリスク先、年商の少ない零細企業）向け貸出の増強及び、メイン化を中心施策として掲げております。2019年9月期の実績（期中平均残高）は下記のとおりです。

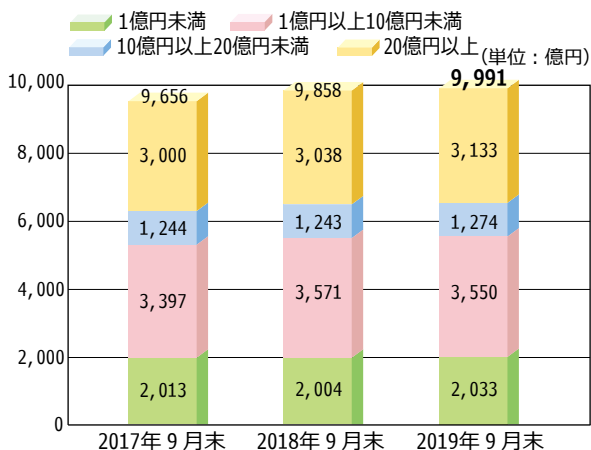
### 格付別中小企業向け貸出金



	高格付先	ミドルリスク先	その他	全体
対前年比	135	60	▲63	132

**成果** ミドルリスク先で60億円の増加。

### 年商別中小企業向け貸出金



	1億円未満	1億円以上10億円未満	10億円以上20億円未満	20億円以上	全体
対前年比	29	▲21	30	94	132

**成果** 年商20億円未満の先で38億円の増加。

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しております。